

令和7年度 上尾市立大石小学校 学校評価書

★自己評価の評価基準

A:できている B:どちらかと言えばできている C:どちらかと言えばできていない D:できていない

学校関係者評価の欄【 】内は、学校関係者評価委員(学校運営協議会委員)の皆様の評価

領域	学校の自己評価				学校関係者評価		
	自己評価の評価基準	主な方策	自己評価	○学校としての考え ◆課題・改善点	関係者評価	学校関係者評価委員の意見・提言	
I 教育目標の具現化・円滑な学校運営	1	学校(学年・学級)運営や学習指導、その他の教育活動の工夫改善に取り組み、学校教育目標(考える子、思いやりのある子、がんばる子)や目指す学校像(信頼あふれる学校)の具現化に向かって、前進している。	・学校経営方針の着実なる実施 ・学校における働き方改革の推進を踏まえた上での価値ある取組の精選、実施	A	○学校は、教職員がチームワーク行動を発揮しながら、円滑な学校運営に向かおうとしている。 ○学校は、時代の変化に対応した教育課程の工夫改善、教育活動の創意工夫に努めている。 ◆大規模校で教職員の意識にも差がみられる。組織としての共通理解をさらに深める必要がある。 ◆夏季休業の延長に伴い、教育課程や行事が圧迫されている。今後も継続して効率的な計画をしていく必要がある。	A	【A A B A A A A】
	2	教職員それぞれが能力を発揮し、各自の分掌(役割)や各学年が連携・協力して、質の高い学校づくりを目指す体制を構築している。	・教職員評価システムを活用 ・キャリア段階に応じたチームワーク行動の重点の実践 ・連絡事項の確認、情報共有、共通行動	A		A	【A A B A A A A】 ・大規模校で難しいとは思いますが、教職員の更なる連携をお願いします。 ・教職員の意識の差はあると思うがお互いにコミュニケーションをとって進めていってほしい。
	3	災害や感染症等の危機に対して、児童の安心安全を確保する対応を適切に行っている。	・健康観察の徹底、手洗いの励行等による感染防止策の継続 ・避難訓練を実施し、意識の向上を図る。	A		A	【A A B A A A A】

領域	学校の自己評価				学校関係者評価		
	自己評価の評価基準	主な方策	自己評価	○学校としての考え ◆課題・改善点	関係者評価	学校関係者評価委員の意見・提言	
Ⅱ 児童一人一人の学力を伸ばす学習指導の充実	4	教育課程や指導方法を工夫改善し、児童の主体的に学習に取り組む態度を高め、学力の定着に努めている。	・ねらいの明確化と振り返りの実施 ・導入5分の工夫、主体的・対話的で深い学びの充実 ・学級会の充実による主体的な態度の育成	A	○学校課題研究を通して、小中一貫教育の推進を目的として、特別活動の充実を図った。自主的に取り組む児童の育成に取り組んできた。 ○授業はわかりやすいと回答している児童は95.9%。「わかった、できた」を実感できている児童は多い。 ◆柔軟な生徒指導が求められている一方で、基本的な規律を徹底できないと感じている教職員が10.8%いる。学校・家庭の共通理解が必要である。	A	【A A B A A A A】 ・授業内容をすぐに理解できる児童はいいのですが、なかなか理解できない児童の指導をお願いしたい。先生には負担がかかると思いますが。 ・「授業が分かり易い」が95.9%で驚きである。その結果が学習結果と重なることを望みます。
	5	学習用具の準備ができるように指導を充実させている。	・「大石小学校のきまり」の徹底 ・全教職員の共通理解と実践 ・学習準備の指導	B	○図書館での貸出冊数を1人1回2冊を継続。12月までを比較すると昨年度より貸出冊数が増加した。 ◆家庭での「読書に親しんでいない」という意見が多いが、児童も19.6%と多い。読み聞かせを継続し、貸出冊数の上昇が分かるなど達成感をもたせる必要がある。	B	【A B C A A A B】 ・基本的な規律について、根気よくご指導をお願いします。
	6	時間を守る心が育つように指導を充実させている。	・「大石小学校のきまり」の徹底 ・全教職員の共通理解と実践 ・授業開始、終了時刻の厳守	A	○オンラインドリルにより、家庭での活用を進めている。 ○ICT端末の更新を計画的に行った。 ◆1年生でICT端末に親しむ時間を確保し、6年間を通してICT活用スキルを向上させる必要がある。	A	【A A B A A A A】
	7	児童の読書の推進し、読書活動を充実させる。	・読書パスポートの活用 ・図書ボランティアによる環境整備	B	○外国語授業力向上研修会を年2回実施。ALTと連携し授業を行っている。 ◆英語学習に対する保護者への周知が弱い。授業公開・ICT端末などを活用して積極的に開示していく。	B	【B B C B A A B】 ・ゲーム、TV、動画視聴などにより家庭内の読書が低下しているように聞く。
	8	コンピュータを活用する授業を推進し、充実させている。	・デジタル教科書や大型モニタの日常的活用 ・オンラインドリルの活用 ・発達段階に応じたICT端末の活用	A	○昨年度の研究を生かし、ペアやグループでの協力的な学習を推進している。 ◆「充実できていない」と答えた職員が58.3%であった。研究を伝えていく体制が必要。	A	【A A B A B A A】 ・ICTとアナログ学習とのバランスを考えてほしい。 ・PCについていけない自分からすると子供の発達はめざましい。指導者が努力しないと子供の進歩についていけない。
	9	英語に慣れ親しみ、主体的にコミュニケーションを図れる児童が育つように、外国語教育を充実させている。	・ALTとのコミュニケーションや連携 ・教師の授業力向上のための研修会の実施	B	○「充実できていない」と答えた職員が58.3%であった。研究を伝えていく体制が必要。	A	【A A B B A A B】 ・授業参観において、児童は活発で楽しそうに授業を受けていてよいと思いました。 ・1度の見学ではなんとも言えないが、ALTの声かけが少ないように感じた。ネイティブな声かけはシャワーのようにあってよいのではないかと。家庭教育では難しい。
	10	個に応じた指導を充実させている。	・個別最適な学びと協力的な学びの実現のための指導 ・学習の振り返りの実施	B	○昨年度の研究を生かし、ペアやグループでの協力的な学習を推進している。 ◆「充実できていない」と答えた職員が58.3%であった。研究を伝えていく体制が必要。	B	【A B C B A A B】

領域	学校の自己評価				学校関係者評価	
	自己評価の評価基準	主な方策	自己評価	○学校としての考え ◆課題・改善点	関係者評価	学校関係者評価委員の意見・提言
Ⅲ豊かな心の育成	11	認め合い、支え合う学級づくりのために指導を充実させている。	B	◆学校は、教職員が丁寧な言葉遣いやもくもく清掃を率先垂範し、人権意識の醸成と落ち着きのある生活ができるように、粘り強く取り組んでいく必要がある。	B	【A B C B A B B】 ・道徳的な教育について、引き続きご指導をお願いします。 ・競うことが減り、自分の得意を発揮する機会も減っているように感じる。 ・宿題に対する考え方が先生によって差がすごくあると感じる。統一してほしいわけではないが、すごく差があると思う。 ・日常の生活指導を大切にしたい。 ・子ども達の認識を育むためには、時間が必要。家庭と連携しながら気長にやっていく必要がある。
	12	正しい言葉をつかう心が育つように指導を充実させている。	B		B	【A B C B A B B】
	13	もくもくと丁寧に掃除をする心が育つように指導を充実させている。	A		A	【A A B A A A A】 ・学校は訪問の際いつもきれいになって廊下なども整理されている。
Ⅳ体力の向上と健康教育の推進	14	体育授業において、児童が運動に親しみ、技能や体力を向上させる取組を充実させている。	A	○体育の授業力向上を目指し、研修を行った。 ◆体力テスト結果では、県平均を下回る種目が多い。休み時間の遊びなど、日常的に体を動かす機会を増やす必要がある。	A	【A A B A A A A】
	15	体育授業以外の外遊び等で、児童が運動に親しみ、体力を向上させる取組を充実させている。	B		B	【B B C B B A B】 ・体力測定の結果が思わしくない。自然に恵まれた大石がどうしてなのかと考えさせられる。 ・仕方のないことかもしれませんが、危険という理由で遊びや体験の機会が制限されることが増えたと感じます。 ・新体力テストの結果が県平均を下回っているとのことですが、児童が自由に遊んでいければいいのでは
	16	保健、歯科保健の取組を充実させている。	A	○食物アレルギーによる事故防止のために、対象児童の全保護者と管理職を含めた面談の機会を設定している。	A	【A A B A A A A】
	17	食に関する指導を充実させ、食物アレルギーによる事故防止にも丁寧に対応している。	A		A	【A A B A A A A】 ・アレルギーにより対応を要する生徒の割合はどの程度いるのだろうか。以前植物の消毒やワックスの利用なども注意する生徒がいた。
	18	「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さの指導を充実させている。	A	○「早寝 早起き 朝ごはん」は、啓発も浸透し、保護者の意識も高くなってきている。	A	【A A B A A A A】

領域	学校の自己評価				A	
	自己評価の評価基準	主な方策	自己評価	学校としての考え ◆課題・改善点	関係者評価	学校関係者評価委員の意見・提言
導 V 児童理解相談に基づいた生徒指導	19	あいさつをする心が育つように指導を充実させている。	B	◆あいさつについてのアンケートでは、評価は高くなっている。「自分から挨拶」できるよう、引き続き指導していく必要がある。 ○いじめ認知件数が増えている。組織的取組の成果といえる。学校生活アンケートを持ち帰って実施することで、家庭との情報共有ができる。	A	【A B A A B A】 ・子どもの心を育むためには、学校だけではなく、家庭や地域の力が必要。 ・挨拶はよくできているように思える。
	20	いじめ・不登校・問題行動の早期発見に努め、組織的な対応をするなど必要な対策をとっている。	B		【A B B B B B】 ・いじめ、不登校の対応はしっかりやってほしい。	
研 VI 教職員の充実	21	教職員研修を積極的に推進し、教職員の資質を高め、指導力の向上を図っている。	A	○学校は、特別活動における学習指導の研究に取り組み、主体的な児童の育成を軸として各学年の児童像を定め、学級会を通じた指導力の向上と授業の充実に努めている。	A	【A B A A A A】 ・教職員の研修を行っていくしかないと思う。
備 VII 教育環境の整	22	安全・衛生・美化の観点から施設や校舎内外を整頓し、整備を進めている。	B	○学校は、安全点検や校内巡視により、施設等の修繕等に努めている。 ○下校班について検討し、2年生の2月から個人下校の練習期間を設けて、段階的な実施を行った。	A	【A B B A B A A】 ・グループで自転車に乗っている児童を見かけることがあります。自転車の事故が多くなっています。交通ルールについての指導も必要だと思います。 ・最近では事件は無いが、不審者の対応をしっかりとやってもらいたい。
と VIII 学連校携との保護推進者、地域	23	学校の方針や取組、児童の様子などが伝わるように積極的に保護者や地域に情報を提供している。	A	○プール見守りボランティアやマシンボランティアなどホームページ及びさくら連絡網を使って、保護者・地域への発信を充実させた。 ◆学校応援コーディネーターの配置 ◆ボランティアの仕事内容を明確にすることが必要である。	A	【A A C A A A A】 ・伝えているが伝わっていない。改善できる点が多くみられる。
	24	コミュニティ・スクールとして学校応援団(保護者や地域住民・関係団体等)の協力を生かして、学校運営や教育活動を充実させている。	B		【A B C A A B B】 ・地域や家庭に、コミュニティスクールの必要性を周知させてほしい。	